

2023年12月

【アウトライン×チックタック】第4弾は 1950年代風のレトロな青赤ツートンカラーを再現した 海外旅行に使えるデュアルタイム時計

時計関連の雑誌、MOOKを専門とする出版社、株式会社シーズ・ファクトリー（所在地：東京都港区、代表取締役：菊地吉正）が、1940～60年代のアンティークウォッチテイストをコンセプトに展開する時計ブランド「アウトライン（OUTLINE）」。

この度、腕時計の人気セレクトショップ「チックタック」とのコラボレーション企画の第4弾として“アウトライン GMT-1950”を発表。2023年12月9日（土）から、チックタックの全42店舗とECサイトにおいて発売を開始します。

【「アウトライン GMT-1950」とは】



レトロな雰囲気の色合いの青赤ツートンカラーを再現

アウトライン GMT-1950 は、1950 年代に旅客機のパイロット向けに開発された時差のある二つの国の時刻を同時に確認できる機能（GMT 機能と呼ぶ）を装備したデュアルタイムウォッチです。そのため 24 時間表示の双方向回転ベゼルと、通常の時分針とは別にもうひとつ GMT 針と呼ばれる赤い副時針を備えている点が特徴です。

GMT-1950 最大の魅力は大きく二つあります。ひとつは 24 時間表示の回転ベゼルです。昼夜を判別するために 50 年代から採用されていた青赤ツートンベゼルは経年変化したような色味を徹底追求。レトロな味わいの落ち着いた色を再現しました。

また回転ベゼル上部をプラスチックで覆っている点です。これは透明な合成樹脂で覆われていた 50 年代当時の雰囲気を再現したものでほかにない特徴です。



そして、二つ目は日常に着けやすい大きさのケースサイズという点です。ケース自体は 37mm 径にとどめ回転ベゼルの直径も 39.3mm と、こちらも 50 年代当時の雰囲気に近いサイズ感で着け心地を重視しました。

搭載する自動巻きムーブメントは、2022 年にシチズン ミヨタが新たにリリースした時針単独可動型（フライヤー型とも呼ぶ）の GMT 機能を装備した新型キャリバー 9075 です。毎時 2 万 8800 振動の高性能機を採用しています。

コロナ禍における行動制限も解除され海外出張や旅行も自由化されたいま、アウトライン GMT-1950 は、渡航先の時刻に瞬時に変更できるとても便利なデュアルタイム時計です。



【GMT 機能の使い方】

GMT 機能には第 2 時間帯の設定方法でトラベル GMT 型とオフィス GMT 型の 2 種類に分けられます。トラベル GMT 型は時針だけを単独で動かすタイプ。一方のオフィス GMT 型は GMT 針を操作して設定するタイプです。今回の新作は前者で、例えば日本からマイナス 8 時間のパリに出張した際に、現地に到着したら時針だけが操作できる機能を使い 8 時間針を戻すだけで現地時間が設定できます。

【商品データ】



- ・モデル名：アウトライン GMT-1950
- ・型番：（左）Ref.YK20234-1PPBK、（右）Ref.YK20234-2PPWH
- ・素材：（ケース）316Lステンレススチール（ネジ込み式リューズ）、（ブレス）304ステンレススチール、（ドーム形風防ガラス）アクリル樹脂
- ・サイズ：ケース径 37.0mm（ベゼル径 39.3mm）、ケース厚 10.95mm（ドーム風防含む 13.0mm）
- ・防水性：5気圧防水（日常生活防水）
- ・駆動方式：自動巻き（日本のMIYOTA製 Cal.9075／24石／毎時2万8800振動（日差-10秒+30秒）／最大巻き上げ時42時間パワーリザーブ／秒針停止機能付き）
- ・機能：時針単独可動式GMT機能、24時間表示双方向回転ベゼル
- ・初回生産本数：各200本
- ・希望小売価格：99,000円（組み立て：日本）
- ・保証期間：1年間

YouTube

<https://youtu.be/UGZHWFchimI>

公式ウェブサイト

<https://outlinewatches.tokyo/collection/gmt1950>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社シーズ・ファクトリー 担当：成瀬（ナルセ）

E-mail : g_naruse@cs-factory.com

TEL : 03-5562-0841 FAX : 03-5562-0846